

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公表番号】特表 2014-512060 (P2014-512060A)
 【公表日】平成 26 年 5 月 19 日 (2014.5.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-026
 【出願番号】特願 2014-505753 (P2014-505753)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/01 3 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 8 日 (2015.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

要素又はアイテムを制御するための装置であって、前記装置は、第一の次元において、物体の第一の特徴を、別の第二の次元において、前記物体の第二の特徴を検出するための検出器と、前記第一の特徴を、前記要素又は前記アイテムに対して実行される動作に変換するための変換器とを有し、前記動作は、前記第二の特徴に依存し、前記第一の特徴は、前記物体の動きであり、前記第二の特徴は、前記物体の位置であり、前記要素は、スクリーン上に表示され、前記アイテムは、前記要素によって表され、前記第一の次元は、前記スクリーンに平行な方向であり、前記第二の次元は、前記スクリーンに垂直な方向であり、前記動作は、ブラウジングを含む、当該装置。

【請求項 2】

前記ブラウジングは、前記要素を含む複数の要素からなるグループを、位置に依存した速度でブラウジングすることを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記ブラウジングは、第一の位置においては、そのうちの一つのグループが前記要素を含む、複数の要素からなる複数のグループをブラウジングすることを含み、また、前記ブラウジングは、別の第二の位置においては、前記複数のグループのうちの一つをブラウジングすることを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記ブラウジングは、第一の位置においては、比較的概括的なスケールでブラウジングすることを含み、別の第二の位置においては、比較的具体的なスケールでブラウジングすることを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記検出器は、別の第三の次元においても前記物体の前記動き又は前記物体の前記位置を検出し、前記第三の次元は、前記スクリーンに平行な別の方向である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記第二の特徴は、前記動作の態様、種類、又はパラメーターを定義する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記物体は、体の一部、体の一部によって保持される有体の物体、又は体の一部に取り付けられる有体の物体であり、前記位置は、好ましくは他の物体に対する相対的な位置であり、前記他の物体は、体の他の部分又は体の残りの部分である、請求項1に記載の装置。

【請求項 8】

前記変換器は、前記第二の特徴を、前記スクリーン上に表示されるか、又は他の手段で再現される情報に変換する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の装置と、前記アイテム及び / 又は前記スクリーンとを有する、デバイス。

【請求項 10】

要素又はアイテムを制御するための方法であって、前記方法は、第一の次元において物体の第一の特徴を、別の第二の次元において、前記物体の第二の特徴を検出することと、前記第一の特徴を、前記要素又は前記アイテムに対して実行される動作に変換することとを備え、前記動作は、前記第二の特徴に依存し、前記第一の特徴は、前記物体の動きであり、前記第二の特徴は、前記物体の位置であり、前記要素は、スクリーン上に表示され、前記アイテムは、前記要素によって表され、前記第一の次元は、前記スクリーンに平行な方向であり、前記第二の次元は、前記スクリーンに垂直な方向であり、前記動作は、ブラウジングを含む、当該方法。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の方法を実行するためのコンピュータプログラム。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のコンピュータプログラムを記憶して含む、媒体。